

## 平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	灰溶融スラグ活用事業	所管	環境クリーン部 東部クリーンセンター 施設課
			TEL 2998-5300

事業の目的 (何の為に 行うか)	循環型社会における循環資源としての溶融スラグを積極的に有効利用すること及び廃棄物処理費用を削減することを目的とする。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	東西クリーンセンターで発生した焼却灰等を溶融することによって得られたスラグ	対象とした数	6,519	t
		実際に 利用した数	6,519	t

活動の内容	(何を したか)	①スラグの性状を分析し、安全に使用できることを確認 ②スラグ有効利用先を検討 ③スラグ有効利用先との調整 ④有効利用実績の管理							
		活動実績	項目名	スラグの生産量	6519	-----	項目名	スラグの利用量	6519
				単位 t				単位 t	単位

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	2,150	2,159	4,508	13.3

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	スラグ利用率	利用したスラグの量÷スラグの生産量	6519	6519	100.0
			単位 t	単位 t	単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 [ ]				
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止				
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了				

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [ ] 終了				
	予算	現状どおり 増額 減額 終了				

# 平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	050700	TEL	2998-5300
事業コード	050701		環境クリーン部 東部クリーンセンター施設課			
事業コード			050701 灰溶融スラグ活用事業			
開始年度		平成 15 年度	—	終了年度		平成 年度

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託＋附加			根拠法令				
	分野別計画・指針	所沢市一般廃棄物処理基本計画			廃棄物の処理及び清掃に関する法律・所沢市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例				
	関連・類似事業	環境マネジメントシステム推進事業							
	総合計画の体系	政策	第1章 緑豊かな ゆとり・うるおいのあるまち	施策	4節 廃棄物・リサイクル	中柱	1.ごみ減量とリサイクルの推進	小柱	(2)リサイクルの推進
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 4 位			・実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○				
事業開始の背景	灰溶融スラグは具体的な利用先がなく、最終処分場へ埋立処分をしていた。そのため、一刻も早い対策が必要であった。								

③事業の内容	目的(何のために行か、具体的に)						
	循環型社会における循環資源としての溶融スラグを積極的に有効利用すること及び廃棄物処理費用を削減することを目的とする。						
	対象(誰を、何を対象としているのか)			利用数の考え方			
	東西クリーンセンターで発生した焼却灰等を溶融することによって得られたスラグ			有効利用したスラグの量			
	対象数	単位	平成 18 年度	6,545	t	平成 19 年度	6,519
事業の具体的な内容及び実施方法							
①スラグの性状を分析し、安全に使用できることを確認 ②スラグ有効利用先を検討 ③スラグ有効利用先との調整 ④有効利用実績の管理							

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)		≪ 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input checked="" type="checkbox"/> 二次評価 ≫	
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) )		
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
平成19年度中に改善した点				
平成18年7月にスラグ利用に関するJIS規格(JIS A5031、JIS A5032)が制定された。東部クリーンセンターではスラグ利用拡大のためJISに沿った品質管理を行うことと、今後の利用方針について整理した。				

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		1,736	2,150	2,150
	決算(見込み含む)		1,735	2,159	
	(嘱託職員)(臨時職員)	( 人 )	( 0.00 人 )	( 人 )	( 0.00 人 )
	正規職員人件費	0.25 人	2,300	0.25 人	2,349
	公債費				
	事業費合計		4,035	4,508	
	財源内訳	一般財源	4,035	4,508	2,150
		国・県支出金			
		受益者負担金			
	市債				
	その他				
	市民一人当たり(単位:円)	11.9	13.3		
	利用数一単位あたり(単位:円)	621.4	691.4		

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	スラグの生産量	年間スラグの生産量	t	6,545	6,519	6,200	6,200
	活動実績	スラグの利用量	年間スラグの利用量	t	6,493	6,519	0	6,200
	成果分析	スラグ利用率	利用したスラグの量÷スラグの生産量	t	目標値 6,545	6,519	6,200	6,200
			%	実績 6,493	6,519		実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2	
			%	達成率 99.2	100.0		1	

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	見直しの必要性
	明らかとなった課題	平成18年度にJIS規格が制定されたことから、所沢市溶融スラグの利用促進等基本指針を改定し、他の公共事業との連携を強め、多様な利用方法の検討及び全量再利用できるよう取組む。		
	目標設定	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)
	平成20年度における目標設定	平成20年度よりスラグの資源化先である事業者が当該事業を実施できない状況となり、現在最終処分していることから、別途資源化先の開拓を行い資源化量の増大を図る。	最終処分量を減少し、資源化を図る	年度末
	平成21年度における事業の方向性	総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) )		
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
	評価理由	今後、スラグの利用量の拡大が見込まれるため、安定した供給体制の充実が必要である。		
	評価日	平成20年5月9日	記入者職氏名	主幹 廣川 澄芳

⑧二次評価	一次評価を受けて	平成21年度における事業の方向性						
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/> 終了						
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
	評価理由	評価日						
⑨個別計画における方向性	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
	評価理由	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
	評価日							

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード	322
	施策の体系	3-2資源循環の促進	施策の方向	3-2リユース・リサイクルの推進
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	基本目標			
	主要課題			
	施策の方向			